



宮城教育大学附属幼稚園

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉6-4-1

電話番号：022-234-0305



☆本園の特色について☆

本園は、仙台市の中心に位置しながらも、園庭に桜、イチョウ、ヒノキなどの大木があり、つじやユキヤナギなどの植物が季節ごと花を咲かせ、自然環境に恵まれた中で、子供たちは毎日元気に活動を行っています。

また、本園の教育方針として、幼児の自発的な活動を基軸とした保育を進め、主体的な（好きな）遊びを通して、幼児一人一人の望ましい発達を図ることを目指し、実践に取り組んでいます。

登園後は「すきな遊び」の活動時間（8：50～11：00）を設定し、遊びが楽しいと感じ、満足感や充実感を得ながら友達と協同して遊びが発展するよう、室内・外の環境構成の工夫に努め、活動を進めています。



ビールケースを使ったサッカースタジアム



ミニプールでの水遊び



巧技台を活用した運動遊び

☆本園の卒業生の活躍状況☆

保護者の転居などにより、附属小学校以外の小学校へ入学する児童を除けば、ほとんどの児童が本園から附属小学校へ入学します。

☆本園勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況☆

園として、転出された先生方の追跡調査や記録の保管などは行っておりませんが、各教育事務所、市町村教育委員会との情報交換を行うことにより、本園に勤務された先生方の動向について把握するように努めております。

☆魅力や特色のある取組や、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取組☆

①遊びの充実を図るための環境づくり：子どもの発達や興味・関心に応じた用具・素材の準備と意図的、計画的な活用を行うことにより主体的な遊びを促し、充実した遊びが展開できるよう工夫し、日々の実践を行っています。それらの取組を公開研究会や国公立幼稚園・こども園の研修会などで参観していただいたり、実践報告を行ったりすることで、「子どもの遊びの環境作りその援助」について提案を行ってきました。



輪くぐりリレー遊び

②家庭地域との連携：毎日降園時に担任から子どもの様子を一人一人知らせています。学期1回の「保育参観」、保護者の方にも参加していただく「保育参加」を実施しています。また、降園後は（木）を除いた会議等のない日に、園庭開放を行っています。地域に対しては、未就園児園庭開放も行い、子育て支援の場を提供しています。



保育参加



降園の様子



園庭開放

③連携に伴う交流活動の場の充実：

同じ敷地内にある附属小・中学校の児童、生徒との交流に加え、特別支援学校との交流、そして行事の時にお手伝いをいただいている大学のボランティアさんたちとの交流により、多くの「ひと」と主体的にかかわる力を育むよう取組を行ってきました。



年長組と1年生の
なかよし給食



中学3年生との
交流活動

④オリンピック・パラリンピックムーブメント推進校としての取組：平成27年度より文部科学省オリンピック・パラリンピックムーブメント全国事業の推進校として指定を受け、校内研究のテーマ「子どもが夢中になって遊ぶ環境とその援助」～体を動かして遊ぶ～と関連付けながら、取り組んできました。日々の保育の中で、子どもたちが夢中になって体を動かして遊ぼうとする環境づくりとその援助について検討し、実践してきました。また、凧作りやもちつきの会を通して、日本の文化にふれるとともに、日本のよさを感じ取り、外国の風習や生活にも目を向けさせ、互いを尊重し合うことの大切さに気付くよう、働きかけてきました。



築山のでこぼこ岩を登る3歳児



もちつきの会



親子凧づくり

☆地域における本園の存在☆

幼児教育に関して、今日的な課題を踏まえながら、研究テーマを設定し、大学と連携を図りながら、日々の実践を通して検証を行い、その経過や成果を公開研究会や研究紀要などで情報発信してきました。

各園において、児童の実態や園舎、園庭の環境構成など幼児を取り巻く環境は異なるものの、「生涯にわたる人格形成の基礎を培う」場としての幼稚園教育の在り方や各園での新たな取組を考える上での、参考事例として活用していただけるよう、様々な取組や研究の成果について、できる限り情報を発信してきました。

公開研究会や研修会では、毎回、参加していただいた先生方から多くのご意見をいただいております。研究会等での協議の時間は、充分とはいえませんが、互いに学び合い、磨き合い、共感し合い、「子どもたちのためにできることは何か」を語り合える貴重な機会となっています。今後も、共に学び合うための拠点となるよう、園の運営、教職員の指導力の向上に努めていきたいと考えています。



公開研究会の様子

☆附属学校の存在意義、本園の存在意義☆

本園は、県内各幼児教育機関と連携し実践研究を行い、幼児教育の振興に寄与することが任務の一つであります。

各教育事務所や市町村の幼児教育担当の指導主事の先生方からご指導をいただきながら研究を進められること、また他県の附属幼稚園の先駆的な取組を学び、研究に生かせること、大学の講師の先生方から専門的な指導を受けられることが、本園の研究を進める上で大きな原動力となっております。これまでも、様々な教育機関からご指導、ご尽力いただいたことを、広く県内の幼稚園の先生方へ還元できるよう努力を続けてきましたが、これからも、子どもたちの豊かな明日を願い、日々子どもたちと向き合いながら学び続ける多くの先生方への布石となれるよう、研修を重ねていきたいと思っております。

そして、将来の幼児教育を担う学生の皆さんが、子どもと共に歩むことの素晴らしさや教師という職業のやりがいを感じてもらえるような教育実習の場を、提供し続けたいと思っております。



教育実習生のみなさん、がんばっています！

子どもたちもお兄さん先生、お姉さん先生が大好きです◎

